

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	環境に配慮したまちづくりの推進	政策(項)番号	VIII
施策名(目)	環境の保全と美化	施策(目)番号	①
担当課	町民税務課	担当課長	引地 敏之

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・環境に配慮したまちづくりを目指すため、太陽光発電等の新エネルギーの導入をはじめ不法投棄防止パトロール、病害虫防除、地球温暖化対策等に関する情報を提供することにより、環境の保全と美化を推進することを目的とする。
------	---

## 2. 施策の現状分析

施策の概要	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化やごみ問題は、世界規模での課題となっている。</li> <li>・不法投棄の件数は、増加傾向にある。</li> <li>・環境問題に対する関心が高まる傾向にある。</li> <li>・原発事故を契機として、太陽光発電等の再生可能エネルギーに対する関心が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国においては、地球温暖化防止に向け、2020年の温室効果ガス排出量を1990年比で25%減らすことを目標に掲げている。具体的には、太陽光発電設置補助をはじめ、自然エネルギーの活用を積極的に推進しようとしている。</li> <li>・一方、県においては、平成23年度から環境税を導入し、温暖化対策を強力に推進している。</li> </ul>							

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	環境教育参加者数	目標			800人	800人	800人		記載上の数値は、出前講座参加者数を掲載
		実績	792人	1,115人	166人			800人	
		達成率			21%				
参考①	不法投棄物処理率	目標			70%	70%	70%		処理件数/発見件数
		実績	100%	100%	100%			70%	
		達成率			143%				
参考②	環境活動モデル事業補助金受給団体数	目標			3団体	3団体	3団体		-
		実績	-	-	0団体				
		達成率			-				
参考③	リサイクル推進指導者養成講座受講者数	目標			20人	20人	20人		20人
		実績	12人	6人	3人				
		達成率			15%				
参考④	住宅用太陽光発電設備設置補助金交付者数	目標			40人	40人	40人		40人
		実績	28人	37人	35人				
		達成率			88%				

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		5,697千円	7,755千円	12,523千円	10,579千円	10,333千円	12,868千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		5,667千円	7,755千円	12,523千円	10,579千円	10,333千円	12,751千円
従事者数	正職員	2.17人/年	2.93人/年	2.96人/年	2.76人/年	2.51人/年	2.51人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	14,611千円	19,980千円	20,095千円	18,738千円	17,041千円	17,041千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		1,881千円	2,746千円	2,691千円	2,510千円	2,281千円	2,281千円
トータルコスト		22,189千円	30,481千円	35,309千円	31,827千円	29,655千円	32,190千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・環境の保全と美化は、地球環境の保全にとって重要な問題である。原発事故等を契機として環境に対する住民意識は高まってきている。太陽光発電の設置希望者もある程度の件数を確保している。このようなことから総合的に判断すると、達成度はやや高い。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・環境に関する出前講座による啓発、リサイクル推進指導者の養成・活用、不法投棄防止パトロール等を強化することにより、施策成果向上の可能性は十分期待できる。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・環境基本計画の趣旨が町民に浸透することにより、町民の環境意識がさらに高まり、住宅用太陽光発電の設置者が増加することは二酸化炭素の排出量減少につながる。また、不法投棄防止パトロールの強化は不法投棄の減少につながるため、環境の保全と美化に対する貢献度は高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止強化のため監視員制度・監視システムの導入を検討する必要がある。</li> <li>・住民の意識改革を図るため、環境問題に関する情報提供や専門家を招いての講演等、啓発活動を強化する必要がある。</li> <li>・定期的な公害防止パトロールの継続が必要である。</li> <li>・啓発的な環境教育を継続して実施する必要がある。</li> <li>・リサイクル推進指導者の活躍する場を設ける必要がある。</li> </ul>
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の意識改革を図るため環境問題に関する情報提供や、専門家を招いての講演会等の啓発活動を実施する。</li> <li>・不法投棄防止強化のため監視員制度・監視システムの導入や、不法投棄物の処理体制を検討する。</li> <li>・太陽光発電等、再生可能エネルギーの利用促進を施策として積極的に推進する。</li> </ul>
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。